



第616回抄録委員会（1月18日）

本誌4月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名等について審議した。

平成19年度水道施設管理技士資格試験（1月20日）

平成19年度水道（浄水・管路）施設管理技士2級及び1級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、701名が受験した。

第861回会誌編集委員会（1月22日）

本誌2月号・3月号の編集方針、投稿原稿の審査、水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第11回水道用塗料等に関する規格専門委員会（1月23日、24日）

前回に引き続き、JWWA K 139（水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料）及びJWWA K 157（水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法）の規格改正についての審議を行った。

この規格改正案を2月1日から2月29日まで日本水道協会 HP 及び日本水道会館、大阪支所、各検査事業所において公開縦覧を行う。

また、規格改正案を次回開催される工務常設調査委員会に諮ることとした。

第259回理事会（1月24日）

御園専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「平成20年度水道関係予算について」、補助金関係については山村厚生労働省水道課長より、起債関係については森総務省公営企業経営企画室課長補佐よりそれぞれ説明があった。続いて、報告事項2「役員就任辞退の取扱いについて」、報告事項3「日本水道協会第76回総会会員提出問題の処理状況について」、報告事項4「日本水道協会第59回全国水道研究発表会における水道フォーラム企画について」、報告事項5「平成19年度日本水道協会の国際活動について」、報告事項6「水道 CEPTOAR 事務局の設置について」、報告事項7「日本水道協会検査に関する証明書発行方法の改正について」、報告事項8「水道用資機材の海外動向に関する調査検討会の設置について」、それぞれ事務局より提出した資料に基づき説明を行い、報告のとおり了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第77回総会の開催期日及び会場について」、第2号議案「前専務理事の退職手当について」、第3号議案「日本水道協会職員

給与規程等の一部改正について」、第4号議案「平成19年度日本水道協会会計予算の補正について」が順次上程され、それぞれ事務局より説明を行った後、慎重審議の結果、原案どおり決定した。



第129回水道事業管理者協議会（1月25日）

情報交換事項として、①水道水源の保全について②新エネルギーの導入について③専用水道における上水道水混合（ブレンド）について④地元業者への発注について⑤水道管布設工事監督者の育成についてそれぞれ意見交換が行われた。



平成19年度水道技術者専門別研修会（浄水施設部門）（1月28日～2月1日）

73名の参加を得て「水道事業の現状と課題」「緩速汙過」「急速汙過」「高度浄水処理・膜汙過施設」「機械設備・電気設備」「計装設備」「水質管理」「水道事業ガイドライン」「実務マニュアル・ノウハウ集」について研修を実施した。

第40回 ISO 審査登録センター・判定委員会（1月29日）

議題(1)前回議事録の確認後、議題(2)大同特殊工業株式会社・第1回更新審査に対する判定について、議題(3)シンワ工業株式会社・第1回更新審査について審議し、2社の品質マネジメントシステムは JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合と判定した。

第23回水道 GLP 認定委員会（1月29日）

愛知県水質試験所の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。また、横須賀市上下水道局施設部浄水課及び神奈川県企業庁水道電気局水道水質センターのサーベイランス結果について審議し、水道 GLP 認定維持を決定した。

第6回 水道料金制度特別調査委員会（1月31日）

議案「水道料金特別調査委員会報告書（案）」について審議を行った。今後、年度内の取りまとめに向け、委員から出された修正案に基づき検討を行っていくこととなった。



第28回府県営水道連絡協議会（2月1日）

情報交換事項として、①-1. 総合評価方式の導入について①-2. 一般競争入札（総合評価方式）の導入について②資産管理業務の効率化について③用水供給事業と水道事業の連携について④-1. 浄水場の一括管理について④-2. 浄水場運転管理業務委託の状況について⑤省エネルギー対策について⑥専用水道に関する情報交換について（工業用水道を水源とする専用水道について）それぞれ意見交換を行った。



JIS マーク表示制度認証授与式（2月1日）

第16回 JIS 製品認証業務判定委員会において、(株)ヴァンテック千葉工場に関する初回認証判定について、適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



平成19年度水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（2月4日～2月8日）

97名の参加を得て「水道事業の現状と課題」「機械設備Ⅰ」「機械設備Ⅱ」「電気設備」「計装設備」「設備更新・管理委託」「実務マニュアル・ノウハウ集」について研修を実施した。

平成19年度第1回新たな水道広域化推進事業調査委員会（2月8日）

議題①「水道事業統合に関する事例調査」、議題②「モデル地域における定量化調査」、議題③「水道広域化の手引き（案）」について、それぞれ審議・報告を行なった。

第617回抄録委員会（2月8日）

本誌5月号に掲載する海外文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名等について審議した。

水道 GLP 認定証授与式（2月14日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した愛知県水質試験所の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



JIS マーク表示制度認証授与式（2月14日）

第17回 JIS 製品認証業務判定委員会において、(株)キッツメタルワークスに関する初回認証判定について、適合と判定され、JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



第59回全国水道研究発表会論文審査等合同会議（2月18日）

本会議では全国水道研究発表会について、発表論文の審査、分野別の会場割り付け、座長の推薦等のプログラム編成を行っており、本会の事務・工務・衛生常設調査委員会の推薦者、学識経験者、並びに会誌編集委員会の推薦者を集め年1回開催されている。

今年度の発表論文について審議した結果、326編の発表が行われることとなった。

